

# 18世紀ブリストルにおける 高額の検認遺産目録

——ワイン商，モルトスター，パン職人のケーススタディ——

岡 部 芳 彦

## 要 約

本稿では、ブリストル市公文書館が所蔵する教会文書の手稿からもっとも高額な検認遺産目録を選出し、活字化した後にケーススタディを行った。高額な遺産目録の特徴をあきらかにするとともに、それを残した人々がどのような背景を持ち、またどのような業務に従事していたのかを詳しく検討した。

総額が最も大きい上位3位はいずれも商工業者であり、3人ともワイン、モルト、パンといった食品を扱った点で共通し、上位2名はアルコール飲料に関わる職業であった。ワイン商の事例からは、ポルトガルやスペイン産のポートワインが主力商品であったことがわかった。フランス産ワインの在庫量が少ないことから、18世紀の英仏関係の悪化やイギリスの保護関税の影響があったことがうかがえた。

また2例には動産の詳細が記載されておらず、検認遺産目録が高額だからといって多くの動産が査定されたわけではないことがわかった。一方、商品の在庫や取引先や顧客の債務の内容は非常に詳細に記されていた。商工業者にとっての検認遺産目録とは、遺産の分割などのために動産の査定をおこなうよりも、死亡者への債務や売掛金を確認する目的のほうが大きかったと考えられる。その一方で、死亡者の債権への返済が長期間に渡り、返済されないことも多かったことがわかり、債権・債務の処理が困難であった実態も窺える。

## 1 はじめに

本稿では、ブリストル市公文書館が所蔵する教会文書群の手稿からもっとも高額な検認遺産目録を3例選出し、活字化したのちにケーススタディを行う。

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

それにより高額な遺産目録の特徴をあきらかにするとともに、それらを残した人々がどのような背景を持ち、またどのような業務に従事していたのかを詳しく検討したい。くわえて、検認に関する文書が何を目的に作成され、どのような性格を有していたのかもみてみたい。

死亡者の動産のリストである検認遺産目録には家財に関する具体名や価値が記載されるため、それを分析すれば当時の生活の実態について多くの情報が得られるのではないかと考えられてきた。しかし、史料としての問題点も指摘され、今日まで議論が続いている。

史料としての検認遺産目録の問題点の一つに、品目の価格や査定<sup>(1)</sup>の正確性への疑問がある。それに対しては、商工業者の遺産目録については、査定人には死亡者と同じ職業の者が専門家として呼ばれ、また債権者がなった事例も多く、特に債権者はそれぞれの品目の査定を厳密に行ったと考えられる<sup>(2)</sup>。また、指定遺言執行者は、死亡者の借金返済のため動産を売る必要があり、遺産目録の査定人を任命する際、「当座でその商品がどれくらいの価格で売れるのか」にしたがって動産を見積もるように求めた<sup>(3)</sup>。つまり、査定額もある程度は時々の実勢価格を反映していたと考えられる。また、商工業者の検認遺産目録には店舗shopの在庫が査定されたものも多く、商品という性格上、正確に査定されたと考えられる。

L・ウェザリルやM・オバートンのように、遺産目録における消費財の出現率を見る研究はこれまでも試みられてきた<sup>(4)</sup>。しかし、遺産目録には消費財だけ

---

(1) Spufford, M. (1990), 'The Limitations of the Probate Inventory', in Chartres, J., ed, (2006), *English rural society, 1500-1800: essays in honour of Joan Thirsk*, Cambridge University Press, pp. 139-174.

(2) Cox, N. and J. (1984), 'Probate Inventories: The Legal Background- Part 1', *The Local Historian*, Vol. 16, No. 3, Aug, p. 135.

(3) George, E. and S. (1988), *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol (1542-1804)*, Bristol Record Society, xiii.

(4) Weatherill, L. (1996), *Consumer Behaviour & Material Culture in Britain 1660-1760*, Routledge. Overton, M., Whittle, J., Dean, D., and Hann, A. (2004) *Production*

ではなく、商品の在庫をはじめ、さまざまな商工業に関する情報も含まれている。よって事例の選出次第では、それぞれの時期における職業の実態を詳細にわたり見ることが可能である。これまで、国際商業網や奴隷貿易を通じて18世紀に大きく発展した海港都市ブリストルの社会階層や社会経済の全体像を把握するため、最大の職業グループであるマリナー mariner や艦船に飲料や職業を提供した酒類・食料販売業者 victualler にくわえて、消費財や動産を分析する際には目が向きにくかった低額の遺産目録の事例なども検討してきた。<sup>(5)</sup>

本稿では、それらにつづき、ブリストル市公文書館に残る検認遺産目録の中から最も高額な事例の手稿を活字化しケーススタディを行うことによって、それらを残した人々の実態に迫りたい。ブリストル地域で経済的な成功を収めたのはどの職業であったのかにくわえ、彼らがいかなる業務に従事したのかを具体的に検討する。また検認遺産目録とそれに付随する会計報告書 account に記載された項目を見ることによって、検認に関する文書が何を目的に作成され、どのような性格を有していたのかを、これまでの研究とは異なった角度から見てみたい。

ブリストル地域の検認遺産目録を体系的に分析した先駆的研究といえるのは、J・ムーアによるものである。ムーアの検認遺産目録集にはブリストル周辺の<sup>(6)</sup>660例が含まれている。ブリストル市公文書館の検認遺産目録を調査する場合

---

and Consumption in English Households, 1600-1750, Routledge.

(5) Okabe, Yoshihiko. (2013), 'The Life of a Mariner in Eighteenth-Century Bristol: A Case Study of Higher-Value Probate Inventories', No 13-18, Discussion Papers in Economics and Business from Osaka University, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP)., 岡部芳彦「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」『大阪大学経済学』63巻2号, 2013年. 岡部芳彦「18世紀ブリストルにおける低額の検認遺産目録—商人, マリナー, 未亡人, ヨーマンのケーススタディー」『神戸学院経済学論集』, 第45巻第1・2号, 2013年.

(6) Moore, J. (1976), *Goods and Chattels of Our Forefathers: Frampton Cotterell and District Probate Inventories 1539-1804*, Philimore & Co. Ltd. Moore, J. (1981), *Clifton and Westbury Probate Inventories 1609-1761*, Avon Local History Association.

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

に有用な刊行物は、E & S・ジョージによる1542-1804年にかけての索引ガイドと3冊の検認遺産目録集の4点があげられる。<sup>(7)</sup> 3冊の遺産目録集には彼らによって代表的なサンプルとして任意に選出された330例の遺産目録が手稿から活字化され収録されている。日本では、この刊行された遺産目録集を用いた研究も<sup>(8)</sup> 見られる。また索引ガイドは、ブリストル市公文書館の公式の索引と同様に同館でも使用されている。<sup>(9)</sup>

ブリストル市公文書館所蔵の検認遺産目録の大半はマイクロフィルムで保存されているが、E & S・ジョージによれば、その一部は Ecclesiastical Cause Papers (以下 ECP) と呼ばれる教会文書群の各年の束に手稿のまま含まれている。検認行為は1857年までの検認に関する法令に基づいて、それぞれの教区の司祭によって統制されていた教会裁判所で行われた。<sup>(10)</sup> ブリストル地域の遺産目録の中で、居住地の外に動産や財産を所有していた場合や教区外にたびたび出るなど様々な複雑な事情を持つものが、上級の教会法廷 Ecclesiastical Court の手続きが要求された事例があり、それらが ECP の中に残されている。<sup>(11)</sup> その

---

(7) George, E. and S. (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*. Bristol Record Society's Publication Vol. 60, x. George, E. and S. with the assistance of Fleming, P. (2005), *Bristol Probate Inventories: 1657-1689*, Bristol Record Society's Publication Vol. 57. George, E. and S. with the assistance of Fleming, P. (2002), *Bristol Probate Inventories Part I: 1542-1650*, Bristol Record Society's Publication Vol. 54. E. and S George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*.

(8) 和田将幸「ミドリング・ソートと消費—17世紀ブリストルの遺産検認目録から—」『経済学論究』, 第64巻第2号, 2010年。なお、ブリストルの商工業者に関しては柳峻夫の一連の研究がある。Hitotsuyanagi T. (2008) 'Leading European Traders in Late Eighteenth-Century Bristol', *Journal of Teikyo Heisei University*, Vol. 19 など。

(9) 岡部「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」, 81頁

(10) Arkell, T. (2000), 'The Probate Process' in Arkell, T., Evans, N., Goose, N., eds, *When Death Do Us Part: Understanding and Interpreting the Probate Records of Early Modern England*, Leopard's Head Press Ltd, pp. 3-13.

(11) E. and S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese*

ため、これらの遺産目録は総額が大きく、多数の家財が記載されている場合も多いため、様々な職業の日常や消費生活を見るのに有用な史料である。ブリストル市公文書館で ECP の各年の束を調査したところ、それぞれ200程度の遺言書、検認遺産目録や関連する付属文書が含まれていた。これらの遺産目録は、1684年から1695年かけて10例、残りの57例は18世紀に集中している。現在閲覧が許されていない1700年以前のを除き、各年の手稿の束から遺産目録のみを選び出した。それらの多くは動産と信用の長いリストを含み、高額な検認遺産目録であった。

手稿の活字化については、イギリスでは盛んに行われており、活字化した事例の内容からそれぞれ職業の特徴についてケーススタディを行うことは、社会経済史研究におけるもっとも有効な活用方法の一つであると考えられる。また、本稿で選出した高額な遺産目録の手稿は、ブリストルの富裕層の実像を分析するのにも最適なサンプルである。以上の史料を用いて分析を行いたい。

## 2 ケーススタディ

表1は、ブリストル市公文書館の索引<sup>(12)</sup>と E & S・ジョージの索引ガイドを用

表1 教会文書 ECP における検認遺産目録の総額の上位5位

年	氏名	職業	教区	総額 (£)
1729	Duval, John	Wine-merchant	City of Bristol	2,621
1778	Poole, William	Maltster	SS. Philip & Jacob	1,447
1783	Jacques, Francis	Baker	Diocese of Bristol	1,250
1804	Ring, Joseph	Potter	Temple	887
1772	Walker, George	Mariner	St. Mary Redcliffe	767

出典：Bristol Probate Records: Inventories, BRO. E. and S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*.

of Bristol, xv.

(12) Bristol Probate Records: Inventories, BRO.

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

いて、ECP の中で総額が大きい上位5位を選出したものである。この内、第4位の製陶業 Potter であった Joseph Ring と第5位のマリナー Mariner であった George Walker の事例は、ブリストル市記録協会 (Bristol Record Society) から刊行された E & S・ジョージの遺産目録集第3巻に活字化され収録されている。<sup>(14)</sup> そこで本稿では第1位のワイン商 Wine merchant であった John Duval、第2位のモルトスター (麦芽業者) Malster であった William Poole、第3位のパン職人 Baker であった Francis Jacques の事例を手稿から活字化してケーススタディをおこなう。

なお手稿からの活字化に際しては綴り違い、改行、注記などできるかぎり史料に近い形で記載した。<sup>(15)</sup> 国内外での史料としての今後の活用も考慮して原語のままとし、短縮語には可能なかぎり注釈をつけた。それぞれの事例には(1)から(3)の番号をつけた。

- (1) John Duval (職業: Wine merchant, 教区: City of Bristol, 1729年) の検認遺産目録<sup>(16)</sup>

ワイン商 Wine merchant の検認遺産目録は、ブリストル市公文書館所蔵の7,169例の中でこの1例のみである。複数教区に財産を持った者が検認を受けたカンタベリー大権裁判所 Prerogative Court of Canterbury の史料でもワイン商と記載された遺産目録はイギリス全体で20例と少ない。<sup>(17)</sup> そのため、この事例

---

(13) E. and S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, pp. 235-242.

(14) E. and S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, pp. 195-200.

(15) 活字化に際しては、現在では死語となった品目名などもあるため、以下の検認遺産目録用語集を参考にした。Rosemary, M. (1993) *A Glossary of Household, Farming and Trade Terms from Probate inventories*, Third edition, Derbyshire Record Society Occasional Paper No. 1. Moore, J., 'Glossary' in Moore, J. (1976) *Goods and Chattels of Our Forefathers*, Frampton Cotterell and District Probate Inventories 1539-1804, Philimore & Co. Ltd, pp. 288-340.

(16) EP/J/2/1/1729, BRO.

(17) Vintner (ワイン醸造業者・卸商) の検認遺産目録はブリストル地域には11例、

は当時のワイン商の実態を知ることができる貴重な史料と言える。ブリストルのワイン商ハーベイズがウスタシャーのキダミンスター Kidderminster に持っていた支店の歴史について記したN・ギルバートによれば、そこでは1790年以前にはワイン販売業は見つからなかった<sup>(18)</sup>。18世紀に入ってもワインはまだ貴族など上流階級のアルコール飲料であり、C・マルドルーによる検認遺産目録を用いた研究によれば、労働者階級にはビールやサイダーが好まれた<sup>(19)</sup>。理由の一つとしては海外から輸入されるワインに比べて、ビールやサイダーがそれぞれの地域で醸造されるため輸送が簡単であったことが考えられる。

史料としての検認遺産目録の問題点の一つとして、死亡時に作成されたものであるので年齢が比較的高齢に偏っている可能性が挙げられる。そのため商工業者の場合、引退し現役ではないことも考えられる。しかし、Duvalの事例のように大量の在庫が査定された検認遺産目録は、死の直前まで事業に従事していたことを裏付けており、商工業者の実態を見るのに非常に有用な史料といえる。

Duvalの事例は、動産に関する記述が一切なく、ワインの在庫のみが査定されている。ここからは高額な遺産目録が、かならずしも動産を査定したわけではないということがわかる。また、通常多くの遺産目録に附される冒頭文の「すべての動産の権利と信用」という部分が一重取り消し線で訂正され、その後の「セラーと地下貯蔵庫にあるワインの査定」という文につながられている。ここからは、当初この遺産目録の査定人は動産の査定を中心に行おうとしていたが、何らかの理由でワインの在庫の査定のみに変更したことがわかる。

ワインは Duval の家の地下貯蔵庫 Vault だけではなく、参事会員 alderman

PCC には222例が残っている。

(18) Gilbert, N. (2010), *Harveys Kidderminster Cream; The story of the Midlands Branch of the famous Bristol wine merchants*, Hencroft Press, p. 10.

(19) この時期のビール醸造、種類、飲酒習慣については Muldrew, C. (2011) *Food, Energy and the Creation of Industriousness, Work and Material Culture in Agrarian England, 1550-1780*, Cambridge University Press, pp. 65-83 を参照。

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

や船長の家の地下貯蔵庫など3か所にも分散して貯蔵されていた。また参事会員の Beachers は2つの地下貯蔵庫を持っていたことも記されている。この事例ではさまざまな単位でワインの量が記されているが、ワインの量を算出する際の1パイプ pipe は2 hogshedd hogshead であり、126ガロンつまり約477リットル入りの大樽ということになる。<sup>(20)</sup> Duval の家にはポートワインが27樽あり、Goodings の家には18樽、Berachers の家には37樽、William 船長の家には13樽があった。これらの所有者は Duval ではあるが、一業者だけでは場所を確保するのが難しく、他の大きな地下貯蔵庫を持っていた有力者の家で保管されていたと思われる。彼らがワイン商に対して倉庫業のような役割を担っていたとも言える。

量は多くはないがフランス産赤ワインの取り扱いもあるため、ワイン貿易商であったことが分かる一方で、ポートワイン（シェリー酒）が6項目査定され、そのうち2項目は £715 10s と £980 10s と非常に額が大きい。よって Duval の主力商品はポートワインであったと考えられる。フランス産赤ワインの在庫量が少ない理由としては、近年の J・ナイの研究でも指摘されるとおり、スペイン継承戦争をはじめとする18世紀における英仏関係の悪化や保護関税があげられる。<sup>(21)</sup> 1703年に結ばれたメシュエン条約において、フランス産よりもポルトガル産ワインに低率の関税が設定されたことは、英仏間のワイン貿易に大きな影響を与えた。<sup>(22)</sup> ブリストルでもフランス産ワインに代わり、スペインや多くのイギリス人が移住しワイン製造を行っていたポルトガルからポートワインの輸

---

(20) Chapman, C. R. (1995), *How Heavy, How Much, and How Long? Weights, Money and other Measures Used by our Ancestors*, Lochin Publishing.

(21) Nye, J. (2007), *War, Wine, and Taxes: The Political Economy of Anglo-French Trade, 1689-1900*, Princeton University Press.

(22) Nye, J. (2009), 'Political Economy of Anglo-French Trade, 1689-1899: Agricultural Trade Policies, Alcohol Taxes, and War', American Association of Wine Economists AAWE Working Paper, No. 38, p. 4. この条約ではポルトガル産ワインの関税が他国の3分の2を超えないと定められた。



入が行われるようになった。<sup>(23)</sup>ポルトワインはブランデーなどによって酒精を強化されたアルコール飲料で長期の保存もきくので航海には必要な製品であり、海港都市ブリストルでその扱いと取引量が多いのは自然である。

1樽あたりの価格も £26 10s と記載され、商品であるがゆえに正確に査定されたと考えられる。フランス産赤ワインは 1hogshed が £30 で、1樽あたり £60 となり、ポルトワインの倍以上の価格であったことがわかる。安価であったこともポルトワインの取引の多さの背景にあったと思われる。

(2) William Poole（職業：Malster，教区：SS. Philip & Jacob，1778年）の検認遺産目録<sup>(25)</sup>

William Poole の遺産目録は1頁が2段組みに分けられた珍しい書式で作成されている。<sup>(26)</sup>

まず、最初に在庫として麦芽とホップが記載されている。この事例も麦芽の額が £321 6s 8d と大量の在庫が査定されており、死の直前まで事業に従事していたことがわかる。Poole の職業はモルトスターで、主にビールに使用する麦芽の製麦を行っていたと考えられる。

在庫につづき、「家財と商売道具」が記載されているが、支払われた金額に基づき査定されたと書かれている。そのため、Poole がそれぞれの品目の価格に関する記録を残していたのかもしれない。キッチンを含めて7部屋が査定されており、大きな住宅に居住していたことがわかり、Poole の経済的な成功がうかがえる。くわえて、セラーとモルトスターの作業場であったモルトハウス Malt House が査定されている。モルトハウスには製麦の最初の工程であるモ

---

(23) Gilbert, *Harveys Kidderminster Cream*, pp. 5-6.

(24) Maltster と同義。

(25) EP/J/2/1/1778, BRO.

(26) William Poole の事例のみ、読み間違いを避けるため、各ページの終わりには「改ページ」と記した。2列で書かれている部分は左から読み始め、左下までくると次は右上の行に続く。

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

ルティングで水に浸すために使われたと思われる Waterpot や大麦を発芽させるフロア・モルティングの際に必要なショベル shovel が査定されている。また麦芽の根を取り除く脱根機 Malt Skreen も査定されており、モルトハウスで行う製麦作業に必要な用具は一通り査定されている。

その他にリネン類と磁器の項目も設けられ査定が行われている。動産には、キッチンやベッド関係品などの遺産目録に一般的に見られる品目が査定され、絵画に加えて銀製時計なども見られるため、それらの消費財を通じて生活の質を向上させることに関心があったようである。

遺産目録の後半は会計報告書であり、その内容からも Poole の業務の一面を見ることができる。死亡に際して勘定残高に記録があり、すでに死亡者への債務の支払を行った16名と未払いの売掛金が残る債務者111名分の一覧が付けられている。両者が分けて記載される事例は珍しい上にこれほど長い債務者一覧はあまり見られない。P・スパフォードによれば、債務者一覧は取引相手を意味している。<sup>(27)</sup> Poole も多くの商工業者や顧客と信用取引を行っていたことが分かり、また日々の商売が繁盛していた様子もうかがえる。

さらにその後には、指定遺言執行者 Executor であった未亡人 Susannah Clayton に許された葬儀費用をはじめとして Poole に関するさまざまな支出が記載されている。大麦、肉、大工仕事や帽子の代金など日常生活で使用した品目にくわえて、会計士への支払いなども詳細に書かれている。また内国消費税 Excise は £178 17s 10 3/4d が支払われており、会計報告書における1記載項目としては額が大きい。1798年には R. K. Hutcheson によって『モルトスター、醸造業者、ホップ栽培者へ：内国消費税と判例』と題された手引書も出版されていることから、その計算が複雑であったことがうかがえる。<sup>(28)</sup> モルトスターや

---

(27) Spufford, P. (2000), 'Long-Term Rural Credit in Sixteenth and Seventeenth-Century England: the Evidence of Probate Accounts' in Arkell, Evans, Goose, N., eds, *When Death Do Us Part*, p. 216.

(28) Hutcheson, R. K. (1798), *For Malsters, Brewers, and Hop-planters: All the Excise Laws and Adjudged Cases*, J. Butterworth, London.

醸造業者を対象にしたこの手引書の著者 Hutcheson はブリストルのバリスター（法廷弁護士）であり、海港都市では航海に必要なポートワインや、水夫や下級船員によって酒場でアルコール飲料が大量に消費されるため、それらの納税に関する深い知識が必要とされた。Poole の会計報告書からは死後も内国消費税額が正確に計算された後に納付されたことがうかがえる。その他には、有料道路であったターンパイクへの支払いもみられ、Poole がそれに関わっていたこともうかがえる。

査定は Mr. Jane が手伝い、その対価も記載されている。彼はまた動産の処分も行ったようである。給与の支払いから、Poole が何名かの女性家事使用人に2名の男性家事使用人を雇っていたほか、役割は不明であるがもう1名を家で雇っていた。最後は、Poole の死亡後に届いたモルトと石炭への支払いで終わっている。

Poole の遺産目録は、在庫にはじまり動産が査定され、その後の会計報告書には詳細な債務者一覧が支払・未払いに分けて記されている。くわえて会計報告書には死後に必要となった経費も詳細に記載されている。これらのことから高額な遺産目録は非常に正確に作成されたと考えてよいだろう。

(3) Francis Jacques（職業：Baker，教区：Diocese of Bristol，1783年）の検認<sup>(29)</sup>遺産目録

この事例は、通常多くの遺産目録に附される冒頭文の「すべての動産と信用」と書かれているにもかかわらず、家庭用品、リネン、衣類が一項目にまとめて査定され、品目の詳細は一切書かれていない。ブリストルの検認遺産目録では、在庫のみが査定された John Dubval の事例や、戦死者への扶養手当支給のための資料として最小限の情報が記載されたマリナーの事例を除いて<sup>(30)</sup>、動産のリス

(29) EP/J/2/1/1783, BRO.

(30) 研究者の間で、賃金を意味する wage due の語が含まれるため wage due inventories と呼ばれている。Barry, J. 'Introduction' in E. and S. George, *Bristol Probate*

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

トであるのが一般的なもので、このような事例は珍しい。

冒頭文には無遺言 Intestate とあるが、遺言執行者に関しては遺言書で指定されていたようで、後半に「すべての動産と信用」と一度記したのちに一重取り消し線で訂正されていることから、無遺言とは動産の分割や扱いについて詳細な記載がないことを意味したようである。

Jacques の遺産目録には、金銭や物品が移動した年月日も記録されている。遺産目録は1779年10月16日に始まり、1781年10月9日で終わっている。各項目の冒頭で見られる「By Cash received」は、死亡した夫 Francis に対する支払が未亡人 Martha に行われたことを示している。この事例は非常に興味深い。売掛金があった商工業者に対する支払は死後も行われたが、それが長いときで2年にも及ぶことがあったのである。

はっきりと明示されたわけではないが、遺産目録の後は会計報告書であり、その期間はさらに長く1779年から1784年に及ぶ。通常会計報告書に記載される葬儀費用や売掛金への支払いにくわえて、定期的に利子の支払いも行われていることから Jacques が生前商売関係で行った借入に対するものと思われる。パンの原材料となった小麦や塩から肉などの食料品にくわえて、靴、リネン、大工仕事、レンガ、薪、仕立、材木、マホガニー、ワイン、馬の維持費、弁護士への支払いなど、様々な支払いが3年半かけて行われたことがわかる。時計掃除の費用の項目もあり、これらからは信用での取引が広範囲な商品やサービスに及んでいたことがわかる。

その後は債務者一覧となっているが、Jacques の死亡後3年半を経ても17名から返済が行われておらず、死亡後の売掛金や債権の回収が難しかったことが分かる。またその5名には名前の次に Bad と記載されている。これも E & S・ジョージの遺産目録集に収録された事例の中にもなく、管見の限りではこのような記載方法はこの一例のみである。これは債権の回収が不能な場合に附され

たと思われる。

この事例の記載方法から考えると、金額的にも小さかった動産に比べて売掛金や債権が巨額のため重要視され、また取引関係の幅広さからさまざまな支払いや清算も必要であったため、それらの詳細が優先して記載されたことがわかる。検認遺産目録は、債務の支払いや債権の回収の台帳としても重要な役割を担っていたと考えられる。

### 3 ま と め

本稿では、ブリストル市公文書館に残る教会文書の手稿 Ecclesiastical Cause Papers から総額が最も大きい上位3位の検認遺産目録を活字化し、それぞれのケーススタディを行った。最後に、そこから得られた知見をまとめて終わりとしたい。

まず、ECP における最も高額な検認遺産目録の上位3例は、すべて商工業者であった。3人ともワイン、モルト、パンといった食品を扱った点で共通し、18世紀を通じて収益の高かった職業は食品関連業だったことがわかる。また上位2名はアルコール飲料に関わる職業であった。John Duval の事例からは、ポルトガルやスペインから輸入されたポートワインが18世紀のワイン商の主力商品であったことがわかった。フランス産ワインの在庫量が少ないことから、18世紀の英仏関係の悪化やイギリスの保護関税の影響があったことがうかがえる。これまでの検認遺産目録の分析からは、海港都市ブリストルでは、18世紀半ば以降、酒類・食料販売業者 victualler が船舶への酒類・食料品販売にくわえて酒場を主要な業務の一つとしていたことがわかって<sup>(31)</sup>いる。航海に必要不可欠なポートワインや、水夫や下級船員によって酒場でアルコール飲料が大量に消費されるため、それに関わる職業が特にブリストルにおいて経済的な成功をおさめたと考えられる。

(31) 岡部「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」。

## 18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

ECPの中で最も高額であった John Duval と第3位の Francis Jacques の事例には動産の詳細は記載されていなかった。ここからは、検認遺産目録が高額だからといって多くの動産が査定されたわけではないことがわかった。今回の上位3例はいずれも日常品に関する記述は少なく、主に商品の在庫や取引先や顧客の債務を中心に作成されていた。在庫や債務の内容は非常に詳細に記され、多数の債務者一覧や金銭や物品の移動した年月日が記載された事例もあった。それらからは商工業者にとっての検認遺産目録は、遺産の分割などのために動産の査定をおこなうよりも、死亡者への債務や売掛金を確認する目的のほうが大きかったと考えられる。

今回ケーススタディした事例では、検認遺産目録とそれに付随する会計報告書に、詳細に債権が査定されたほか、死亡者が売掛で購入した物品への支払いなども時系列を追って記載されていた。つまり検認遺産目録が信託文書の役割を果たしつつ、売掛金や債務の証文としても重要な役割を担っていたといえる。その一方で、死亡者の債権への返済が長期間に渡り返済されない場合も多かったことがわかった。遺産の分割以上に、債権・債務の処理が困難であった実態が窺える。

今後の課題であるが、検認遺産目録が信託文書や証文としてどこまで効果があったのかを、手稿の活字化とケーススタディを通じて検討したい。くわえてワイン商の事例からは、商品の在庫を見ることによって、当時の英仏の交易関係や関税の影響を分析できることがわかったため、これについてもさらなる考察を深めたい。

(1) John Duval（職業：wine-merchant，教区：City of Bristol，1729年）の検認遺産目録

A true and perfect inventory of all and singular the Goods Chatells Rights and Credits of and Appraisem<sup>o</sup> of the Wines which were in the Cellars or Vaults of John Duval late of the City of Bristol Merch<sup>o</sup> deced<sup>o</sup> taken and appraised this 16<sup>th</sup> day of June 1729 by John Owens and Rob<sup>t</sup> Saunders

	£	s	d
In the Vault under the deceds House			
One Pipe of old Port Wine	30	—	—
One Hogshead of old Port Wine	14	—	—
Eighteen doz of French Claret at 1,, 12,, 6 p <sup>o</sup> Dozen	29	5	—
Twenty seven Pipes of new Port at 26,, 10,, p Pipe	715	10	—
Old Hogshead of French Claret	30	—	—
In the Vault under Mr Goodings House			
Eighteen Pipes of new Port at 26,, 10,, p Pipe	477	—	—
In the Two Vaults under Ad <sup>r</sup> Alderm <sup>n</sup> Bechers House			
Thirty seven Pipes of new Port at 26,, 10 p Pipe	980	10	—
In the Vault under Cap <sup>t</sup> . Williams's House			
Thirteen Pipes of new Port at 26,,10,, p Pipe	325	344	10
		2620	15
Rob <sup>o</sup> Saunders			
Jn <sup>o</sup> Owens			
In precesentia meu			
Jo <sup>o</sup> Hipny Noy <sup>o</sup> Pub <sup>ci</sup>			

出典：EP/J/2/1/1729, BRO.

(2) William Poole（職業 Malster，教区：Saint Philip and Jacob，1778年）の検認遺産目録

A true and perfect Inventor and account of all and singular the goods Chattels and Credits of William Poole late of the Parish of Saint Philip and Jacob in the county of Gloucester and Diocese of Bristol Malster deceased which since his Death have come to the Hands Possession or knowledge of Susannah Clagton widow ( the Excutreise) as followeth and by her exhibited in the Registry of the Episcopal court of Bristol the 14<sup>th</sup> Day of November 1770

18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

The Stock in trade hereinafter mentioned was sold at the several Rates or Prices following that is to say

1649 1/2 Bushels of malt in stock	£	s	d	One Flock Bed and Bolster	1	4	-
and sold to sundry persons as per	321	6	8	One milpuff Bed and Bolser	-	16	-
addt & p u of Hops				Two pillows	-	3	-
Hops in Stock & sold Rich <sup>d</sup> Packer	5	14	7	One Quilt	-	7	-
Do sold to Ron Dniver	2	13	-	Two Blankets	-	6	-
				One Sheet	-	5	-
The Household goods and utensils in				In the Little Room			
Trade herein after mentioned were taken valued and				One old Furrup bedstead	-	2	-
appraised at the several rates or paid following				One old spolted Rug	-	2	6
In the garrett				One Close Stool			
One old corded bedstead	-	1	-	One old Pillow	-	3	-
In the fore Room & Story				In the Parlour			
One mahogany case of Drawers	1	-	-	One Eight Day Clock	4	10	-
One swinging glass	-	10	-	One mahogany case of Drawers	3	3	-
One dressing D <sup>o</sup>	-	7	-	One mahogany Square Table	1	4	-
Six Rush bottom chairs	-	6	-	One D <sup>o</sup> Card Table	-	12	-
Six D <sup>o</sup>	-	8	-	One D <sup>o</sup> Tray	-	2	6
One dressing Table	-	2	-	One Sconce glass	-	18	
One Feather Bed and Bolster	1	11	6	Six wooden bottom chairs	-	16	-
One Chest	-	6	-	Six D <sup>o</sup>	-	12	-
One Iron Fender	-	2	-	Thirteen Pieces of White glass	-	3	3
In the other room adjoyning				One Pieces of Painting over the			
One old Bedstead and Furniture	-	7	-	chimney	-	3	-
(改ページ)							
In the Kitchen				Two Kilderkins and two firkins			
One Fish Kettle & Copper Cover	-	10	-	Two Kilderkins and a Jundish	-	5	-
One Copper Pot and cover	-	9	-	One Horse cast & Harness in	7	7	-
				the year			
One small pot	-	4	-	Eleven Fowls	-	9	-
Two chocolate pots	-	3	-	In the Malt House			
One Saucepan and cover	-	2	6	One shovel Barr spade and	-	3	-
				Riddle			
Four Brass Candlesticks & candle box	-	2	6	One malt screen bushel bucket	}	-	7
One brass warming pan	-	3	-	and waterpot			
Three pewter Dishes & Plates	-	4	-	A sacking bottom Bedstead &	-	10	-



			2 curtains		
One oval table and carpet	-	2	6	One How 2 shovels & a lot of sumber	- 2 6
One oak tea table	-	5	-	Two Pecks and old faw	- 1 -
Two leather bottom chairs and one Windsor chair	}	-	4	-	-
One small looking glass	-	1	6	One Bushel Deck and Shike	- 3 -
One fire shovel Tongs and Poker	-	3	-	One malt skreen	- 10 -
Two shovels tongs and Piece of a Poker	}	-	2	-	-
				Four malt shovels and two baskets	- 2 -
				Twenty six socks more or less	1 - 4
One Iron Trippett	-	2	6	Linnen	
One Pair of Shilards	-	4	-	One Dresser cloth & Bacaklast Cloth	- 2 6
One Iron Spit	-	-	9	One old pillow case & two old curtains	- - 6
				One old sheet	- 3 -
In the back kitchen				One pair of sheets	- 4 6
One Ironing board and	-	2	6	One towel and two rubbing cloths	- - 6
Two Pewter Dishes and nine Plates	-	7	-	One old oak Eye Drawers	- 8 -
One gridiron	-	1	6	One table cloth	- 2 -
Three old pewter plates	-	1	-	China	
One small oval Table	-	1	6	Five China Basons broke and whore	- 4 -
One stewpan saucepan and skimmer	-	2	6	Two China Tea Potts	- 1 -
Three brewing Tubs	-	6	-	Twelve Pieces of different sorts of china	- 2 6
Two wash tubs	-	2	6	One old tea board	- - 9
One old iron pott	-	1	-	Plate	
One pail and lade pail	-	1	6	One Tankard	6 13 1
One meshing stick huckmuck & ladder	-	1	-		
				One silver watch	2 2 -
In the Cellar				Two Table spoons	1 - -
One Prker cask & two brass cocks	-	8	-	Three Tea spoons	- 6 -

(改ページ)

Upon the Balance of account

18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

An account of monies received for debts due			Charles Tilly	-	8	3	
to the deceased of the sume of his Death from			Francis Peacock	5	7	6	
the several persons hereinafter mentioned vizt			Daniel Cribb	20	17	8	
Cash received of Samuel Gay	1	9	6	Benjyamin Watkins	1	1	-
of W <sup>m</sup> . Tilly	-	5	-	Mary Hannum	1	18	10 <sup>1/2</sup>
of Jacob Player	-	18	8	Jacob Parker	5	17	-
of E Sacey	-	3	4	Nathan Bally	8	19	1 <sup>3/4</sup>
of Robert Castle	10	10	-	Sam Smith	9	2	10
of John July	14	-	2	George Jeffries	2	7	2
of John Lawrence	1	1	-	Charles Challisum	1	4	7 <sup>1/2</sup>
of Sam <sup>r</sup> . Johnson	-	3	-	John Emery	3	9	10 <sup>1/2</sup>
of Jos Burges	-	4	-	Mary Edwards	1	5	2
of G Smith	-	17	-	John Baker	17	6	-
of Sam Johnson	8	10	-	Jas Harding	10	5	6
of M. Brouy	-	10	-	Jas Harding Schoolmaster	1	3	11 <sup>1/2</sup>
of wm Phillips	1	4	6	Issac Hewlett	5	1	4
			John Roach	15	2	6	
			John Jagg	5	6	1	
			John Tagg Jan	2	9	5	
			Mrs Gotley	1	13	8 <sup>1/2</sup>	
			Laurence Tomas	2	3	-	
Debts due and owing from the several persons			Johnson-	-	3	-	
hereinafter mentioned to the Estate of the said			Joseph Smith	17	1	-	
William Poole deceased which this Exhibitant			Richard Bayle	3	15	-	
Protests against being changed with untile the			Robert Grist	-	10	-	
shall receive the same			Joseph Bruges	-	4	-	
From William Gibson	17	9	8	William Peacock	1	9	4
Cornelius Harris	7	8	10	Joseph Snary	1	4	-
William Carpenter	11	11	13	John Cryer	-	3	-
Jas Gage	2	4	-	Charles Marlin	4	10	10
Samuel Plumly	2	-	3	Ann Phripps	4	12	8
			(改ページ)				
From Thomas Jeffries	31	7	4	From Mrs Baynton	-	10	-
John Ford	9	-	2	Barnaby Hawkins	1	2	6
James Edgell	5	18	1 <sup>1/2</sup>	James Pike	1	14	10
Benjamin Attwood	-	6	-	Anthony Laney	-	6	9
Frederick Yeamans	3	0	9	Nathaniel Hopkins	-	18	4
William Barnett	4	10	-	Turner and Toye	12	15	-

John Barnes	4	9	9	Ann Jones	-	10	-
Thomas Ponting	14	15	4 <sup>1/2</sup>	John Adams	6	15	-
Robert Castle	10	8	10	John Young	-	5	-
Joseph Hill	1	18	1	John Lawrence	13	2	9
Elizabeth Powell	5	12	6	D Baown	-	10	-
Jonathan Whitehwich	1	17	-	Thomas Daly	-	11	6
John Tyly	14	0	2	John Thomas	-	8	4 <sup>1/2</sup>
William Tilly	-	3	4	John Edwards	-	9	7
Aaron Pullen	4	1	3	James Pearce	2	3	4
Ricard Dunn	5	18	-	Faneis Smith	1	4	-
Samuel Welton	80	8	5	Ann Millett	2	9	6
William Driver	11	19	2	Samuel Beats	1	4	-
George Fownes	29	5	-	James Bartlett	2	15	8
Jacob Player	-	18	8	Banister Pugh	1	1	-
William Brown	51	1	8	Samuel Spell	1	2	3
David Lewis	22	3	4	Mr. White	1	1	4
Hester Maggs	13	17	6 <sup>1/2</sup>	Mr. Thurston	2	0	3 <sup>1/2</sup>
Jules Smith	-	17	-	Robert Read	1	9	4 <sup>1/2</sup>
William Ridge	21	1	<sup>1/2</sup>	Francis Leonard	-	3	9 <sup>1/2</sup>
Francis Eveleigh	261	17	10	Benjamin George	9	9	-
W <sup>m</sup> . Hulbert	-	13	6	Hugh Riggs	2	2	6
Robert Witherill	-	15	4	Thomas Action	16	6	5
Joseph Grindell	1	18	2	John Aishton	6	15	-
William Ball	5	-	-	Thomas Jones	1	4	9
Widow Smith	-	8	1	John Perkins	3	9	-
				John Hitchcock	36	11	-

(改ページ)

Paid

From Hocky Harden	-	10	-	John Wards Drass to Bonbonous	30	-	-
William Gayner	8	2	4	The deceds note to W <sup>m</sup> . Keen	20	10	-
Timothy Roach	-	14	9	Excise 21. 13. 2 <sup>1/2</sup>	}	178	17 10 <sup>3/4</sup>
William Gotley	7	12	2	Do 72. 4. 5 <sup>1/4</sup>			
Joseph Stokes	21	5		Do 85. -. 3			
Henry Parmyter	10	10	4	Henry Jones for coals	1	-	7 <sup>1/2</sup>
John Alker	9	1	0 <sup>1/2</sup>	Thos Jeffries for Barley	9	9	-
John Powell	37	8	8	Thos Bracey for meat	1	1	8 <sup>1/2</sup>
John Grindell	-	9	6	John Horse man for Gurnpikes	1	5	4
Isaac Coltle	-	8	9	William Birte Carpenter	1	4	10 <sup>1/2</sup>

18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

David Thomas	-	5	4 <sup>1/2</sup>	Henry Cornerford accountant	3	16	6
Richard Peach	-	10	6	John Price for work	-	3	8 <sup>1/2</sup>
Robert Jones Baker	1	-	-	Same Leanard for Taxes	-	8	6
W <sup>m</sup> Smith watchmaker	1	2	6	Henry Stone for Barley	4	8	6
P Parrott Brick sheet	2	10	4	Giles Smith for Barley	14	7	7 <sup>1/2</sup>
William Weikes	6	-	-	Samuel Tippett for rent	8	10	-
And this Exhibitant saith that against many of these Balances there are accounts unsettled & standing open between the estate of the deced and the several persons therefore the exact sums due to the said deceased estate from them cannot be ascertained				Mr Hart for Tythes	-	2	-
				Mr. Roach	20	-	-
				Samuel Gay for Halts	1	11	6
				Samuel Johnson	8	7	-
				Joseph Burges	5	14	6
				William Tilly	4	-	-
				E Sacey	-	11	6
				W Merrall	-	14	10
				D Brown Taylor	-	10	-
				Thos Jeffries in past of a Note of L 41	20	10	-
				W <sup>m</sup> Phillips for Rent	5	5	-
				Excise	35	2	2 <sup>3/4</sup>
				D <sup>o</sup>	14	13	4

(改ページ)

Paid Expences attending Sale ve	5	10	-	Paid Mr. Driver for money	20	-	-
Mr. Fownes for Rent	29	5	-	Delivered To William Brown	}	85	16
Mr, Jane for appraising Goods and distribution	}	1	1	after the deseased's Death			
Hand Bills				in Part of Debt owing by the deceased to sum 515			
for advertazing in the four papers	}	2	8	Bushels of malt at 3/4 per bushel	}	1	13
Maid Sewants wages				3			
Two men Sewants wages a month each at 8/6 per weej	}	3	8	for coal	}	-	7
A Manin the House at 4 <sup>s</sup> pr weeks for 24 weeks				}			
					Accomptant		
				D <sup>o</sup>			3

This Exhibitant craveth an allowance of all such sum and sums of Money as she shall expend lay out or be put onto in and about drawing ingrossing and exhibiting this inventory and account and other

necessary Charges relating thereto or otherwise occasioned by this pretended  
 suit on any other suit or suits action or actions to be brought against her  
 in this or an other courts or courts of law or equity whatsoever as  
 Execuhix of the last will and testament of the said deceased eeeeeeeeeeee  
 eeeeeeeeeeeeeeee (字消し線) the Mark of  
 Sworn in Court the 17<sup>th</sup> xv  
 day of November 1778 before as Susannah Clayton  
 Hamplin Sur

出典：EP/J/2/1/1778, BRO.

(3) Francis Jaques (職業：Baker, 教区：Diocese of Bristol, 1783年) の検  
 認遺産目録

A full true perfect and particular Inventory of All and  
 singular the goods Chattells and Creditts of Francis  
 Jacques late of the City and Diocese of Bristol Baker  
 deceased Intestate Which since his Death have come to the  
 Hands Possession of Knowledge of Martha Jacques of  
 the City and Diocese of Bristol Widow Relict and  
 Exectrix named in the last Will and Testament  
 Administratrix of the Goods Chattells and Creditts of the  
 said deceased, as follows Vizt<sup>①</sup>

		£	s	d
1779				
Oct <sup>r</sup> 16	By Cash in House	7	-	-
	By seven sacks of Flour in House ^ <sup>②</sup> 30/	10	10	-
	By one sack Second in D <sup>o</sup> ③ @	1	9	-
	By twenty two sacks thirds in D <sup>o</sup> @ 32/	24	4	-
	By thirty two d <sup>o</sup> Coarse in d <sup>o</sup> @ 20/	32	-	-
	By nine sacks two Cones @ 30/	13	10	-
	By twelve sacks Second s @ 28/	16	16	-
	By five Tons Biscuit @ 12/ per T <sup>④</sup> .	60	-	-
	By Inventory of Household Goods Plate Linnen & c } appraised	86	3	11
	By Cash rec <sup>d</sup> ⑤ of M <sup>r</sup> . Simes for Bread	3	-	-
Nov <sup>r</sup> . 20	By D <sup>o</sup> D <sup>o</sup> of Mr Fisher for Biscuit	3	1	-
Dec <sup>r</sup> . 7	By D <sup>o</sup> D <sup>o</sup> of Sam <sup>l</sup> ⑥ Span Esq <sup>r</sup> ⑦ p Tyger	99	14	-
	By D <sup>o</sup> D <sup>o</sup> of Capt <sup>n</sup> ⑧ Hayhurst for Biscuit	30	15	6

18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

27	By D <sup>o</sup> of Mr Humphries for D <sup>o</sup>	8	-	
	By D <sup>o</sup> of Cap <sup>tn</sup> Holman for D <sup>o</sup>	7	4	6
1780				
Jan <sup>y</sup> 18th	By D <sup>o</sup> of D <sup>r</sup> . Moncreiff for Bread	12	12	6
	By D <sup>o</sup> of W <sup>m</sup> . <sup>®</sup> Williams for D <sup>o</sup>	4	-	3
March 13	By D <sup>o</sup> of The Whynott Privateer for Biscuit	6	4	6
April 17	By D <sup>o</sup> of D <sup>r</sup> . Barrett for Bread	8	14	3
	By D <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> Roach for D <sup>o</sup>	8	15	-
	By D <sup>o</sup> of Mr Davis for D <sup>o</sup>	3	11	-
May 12	By d <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> Westcott for D <sup>o</sup>	1	3	-
June 6	By d <sup>o</sup> of Mr Tho <sup>s</sup> . <sup>®</sup> Daniel for Biscuit	346	14	
28	By d <sup>o</sup> of Sam <sup>l</sup> Span Esq <sup>r</sup> for D <sup>o</sup>	352	19	-
Oct <sup>r</sup> 2	By d <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> Cotton for D <sup>o</sup>	14	15	-
1781				
March 15	By Cash Reced of M <sup>s</sup> Oldway for Biscuit	10	12	-
June 23	By D <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> Broom for Bread	17	16	-
	By D <sup>o</sup> of Mr Lamb for D <sup>o</sup>	6	9	6
Sep <sup>r</sup> 14	By D <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> Evans for D <sup>o</sup>	8	16	6
Oct 9	By D <sup>o</sup> of for 2 Horses	7	7	-
	By D <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> . Chillcot for Bread	-	12	9
	By D <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> Young for D <sup>o</sup>	-	10	6
	By D <sup>o</sup> of Sundry small debts	5	-	-
	By D <sup>o</sup> of Capt <sup>n</sup> Hayington	7	13	11
	By D <sup>o</sup> of M <sup>r</sup> . M <sup>c</sup> Carthy for Bread	11	11	6
	By D <sup>o</sup> for Empty Sacks	11	-	-
	This Exhibitant Craveth an Allowance for the Several Sums of Money by her laid out and expended in and about The Proving the Will obtaining Letters of Administration of the Goods Chattells and Creditts of her said late Husband deceased and in and about his Funeral Expences <sup>^</sup> and for the several Sums of Money by her paid to the several Creditors of the said deceased which were actually due and owing at the time of his death as are hereinafter setforth (Viz')			
1779				
Oct <sup>r</sup> . 11	To Cash p <sup>d</sup> Lady Gordon for faggots	£ 21	3	6
	To D <sup>o</sup> Samuel Danzey for Walling th <sup>e</sup> same	3	3	-

Dec <sup>r</sup> . 2	To D <sup>o</sup> Tho <sup>s</sup> Wigan for Interest on £500 for 1/2 Year	12	10	-
28	To D <sup>o</sup> Saml King for Glazeing	6	6	11
	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Lewis for M <sup>r</sup> Jacques's Lodging	5	13	4
1780				
Feb 5	To D <sup>o</sup> John Evans & Son for Deals	50	-	
24	To D <sup>o</sup> Will <sup>m</sup> Leigh for Halling	-	13	4
	To D <sup>o</sup> W <sup>m</sup> <sup>®</sup> Radford for Halling	-	9	-
	To D <sup>o</sup> Tho <sup>s</sup> Aldridge for Rope	2	-	6
Feb 2	To D <sup>o</sup> John Savage for Salt	7	5	-
8	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> . Barry for Rent of a Bake house	5	-	-
	To D <sup>o</sup> Geo <sup>®</sup> Guinett for Flour	41	3	-
	To D <sup>o</sup> D <sup>r</sup> Moncrieff for Attending Mr Jacques	2	2	-
	To D <sup>o</sup> Rich <sup>d</sup> Phillips for Burial of D <sup>o</sup>	1	16	10
	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Neat for Meat	2	19	-
12	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Wigan for Linnen &c	1	5	2
24	To D <sup>o</sup> Sam <sup>l</sup> Thompson for Shoes	-	17	3
	To D <sup>o</sup> John Tilladams for Schooling	2	4	-
March 10 <sup>h</sup>	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Bowen Funeral Expences	4	9	-
13	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Robson for Carpentering	5	14	3
16	To D <sup>o</sup> Tho <sup>s</sup> Parsons for Flour	16	10	-
31	To D <sup>o</sup> Mr Edolls for Interest on £350 for 1/2 Year	8	15	-
April 3	To D <sup>o</sup> W <sup>m</sup> Luois for flour	5	12	-
4	To D <sup>o</sup> John Morgan for Cloth	3	7	-
6	To D <sup>o</sup> John Snook for Flour	10	10	-
15	To D <sup>o</sup> John Roach for Sundry's Carpentering	1	3	2
23	To D <sup>o</sup> D <sup>r</sup> Banett for attending M <sup>r</sup> Jacques	1	11	6
24	To D <sup>o</sup> John Bowdem for keeping Horses	2	16	6
June 6	To Cash paid Rob <sup>t</sup> Southey for Bed hanging	8	19	5
7	To <sup>^</sup> D <sup>o</sup> Francis Evereligh for Flour	11	1	8
	To D <sup>o</sup> Evan Evans for Bricks	1	-	-
	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Beckett for accompt Book	-	16	-
10	To D <sup>o</sup> Tho <sup>s</sup> Farley for Salt	25	14	9
15	To D <sup>o</sup> Dan <sup>l</sup> <sup>®</sup> Woodruffee for flour	30	-	-
	To D <sup>o</sup> Thomas Stephenson for D <sup>o</sup>	50	-	-
16	To D <sup>o</sup> Rich <sup>d</sup> <sup>®</sup> Large for D <sup>o</sup>	24	11	-
19	To D <sup>o</sup> M <sup>r</sup> Wigan for Interest of £500 1/2 year	12	10	-

18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

	22	To D° Benjamin Carter for Flour	27	16	-
	24	To D° M <sup>rs</sup> Edolls for Interest on £350 1/4 year	4	7	6
	27	To D° John Chivers for Flour	50	-	-
July	11	To D° Edward Forward for Interest and part of a Bond debt	}	55	-
	13	To D° John Wood for Cleaning the Clock			
		To D° Thomas Prisk for Shoes	-	7	9
		To D° Edw <sup>d</sup> Young & C° for Flour	2	19	4
	19	To D° Samuel Jenkins for D°	62	3	6
		To D° Mess <sup>rs</sup> Garnetto & C° for Timber	3	8	4
	22	To D° Thomas Vaughan for Faggots	6	-	9
	27	To D° Mess <sup>rs</sup> Slade Baker & Son for Crockering	16	17	8
August	5	To D° Edw <sup>d</sup> Fidoc for Lead &c	10	-	-
Sep <sup>r</sup>	4	To D° Henry Prior for Flour	7	13	-
	14	To D° Rob <sup>l</sup> Sayer for grinding Corn & E	3	-	6
	29	To D° M <sup>rs</sup> Eddols for Interest on £350 1/4 year	4	7	6
Oct <sup>r</sup>	2	To D° Benjamin Cotton for upholstring	18	7	-
	11	To D° Mess <sup>rs</sup> McCarthy & Vaughan Salesmen	3	13	6
Dec <sup>r</sup>	2	To D° M <sup>r</sup> Wigan for Interest on £500 1/2 year	12	10	-
1781 Jan <sup>ry</sup>	4	To Cash paid Tho <sup>s</sup> Stephenson for Flour	30	-	-
	Feb 7	To D° Laz <sup>s</sup> Brown for Painting	4	15	-
	9	To D° Mess <sup>rs</sup> Jones & C° for Iron work	9	6	9
March	16	To D° Mary Halloway for Tayloring	14	12	-
	16	To D° Edw <sup>d</sup> Fidoc for Lead &c	14	14	5
April	3	To D° Mess <sup>rs</sup> Stephens & Jones for Stone	2	9	2
		To D° John King for Old Timber	7	7	-
June	2	To D° M <sup>r</sup> Wigan for Interest on £500 1/2 year	12	10	-
July	7	To D° Mess <sup>rs</sup> Bush & Elton for Coppering	2	5	6
	16	To D° Tho <sup>s</sup> Price for Malt	5	14	9
	21	To D° Edw <sup>d</sup> Forward for Interest on £200 1/2 year	10	-	-
		To D° Mess <sup>rs</sup> Bence Lockyer & C° for Mahogany	1	9	9
Sep <sup>r</sup>	29	To D° M <sup>rs</sup> Eddols for Interest on £350 3/4 year	13	2	6
Dec <sup>r</sup>	18	To D° M <sup>r</sup> Wigan for Interest on £500 1/2 year	12	10	-
1782 Jan <sup>ry</sup>	17	To D° M <sup>r</sup> Wigan for Interest on £500 1/2 year	12	10	-
	Feb 18	To D° John Leaver for Pease	6	13	-
	March 1	To D° John J <sup>rs</sup> Bildridge & Son for Wine &c	2	13	-



June 28	To D° Edw <sup>d</sup> Forward in part of a Bond Debt and Interest	} 60	-	-
	To D° John Broom for Ironmongery	50	13	-
	To D° Mess <sup>rs</sup> Grindell & Lamb for Plaster	14	7	
Sep <sup>r</sup> 14	To D° David Evans for keeping Horses	29	1	2
Oct <sup>r</sup> 9	To D° Mess <sup>rs</sup> Evans & Son for Deals	20	0	-
Dec <sup>r</sup> 21	To D° M <sup>rs</sup> Eddolls for Interest on £218 9,, 6 for 11/4 year	} 13	13	9
1783 May 29	To Cash p <sup>d</sup> Dan <sup>i</sup> Burges the Lawyer	53	12	-
June 10	To D° Edw <sup>d</sup> Forward for Interest on £150 for 1 Year	} 7	10	-
	To D° Edw <sup>d</sup> Forward in part of a Bond Debt	50	-	
	To D° Mr Wigan for Interest on £500 for 1/2 year	} 12	10	-
	To D° John Weekes as p Note	102	4	7
12	To D° Rob <sup>i</sup> Guiland for keeping Horses	-	9	-
24	To D° M <sup>rs</sup> Edolls for Int <sup>o</sup> on £218,, 9,, 6 for 1/2 year	} 5	9	3
	To left unpaid to M <sup>r</sup> Forward in part of a Bond Debt	} 100	-	-
	To D° M <sup>r</sup> Parker for Proving the Will	4	18	
		1767	10	6

This Exhibant also craveth an Allowance for the Charges and Expences she may be at or put unto in exhibiting this her Inventory and Account or otherwise touching her said Executrixship.

Martha Jacques

An Account of Debts due to the Estate of Francis

Jacques deceased at the time of his decease and now outstanding

M <sup>r</sup> Wm Sleadow	Bristol	£5	16	9	
M <sup>r</sup> James Weekes	Bristol	17	4	1	
M <sup>r</sup> Cole	Bristol	Bad	3	10	0
M <sup>rs</sup> Rogers Widow	D°	Bad	3	13	0
M <sup>rs</sup> Worth deceased late of Bristol		Bad	8	12	0
M <sup>rs</sup> Jones			4	10	0
M <sup>r</sup> George Roach Hallier of Bristol deceased			6	11	9

18世紀ブリストルにおける高額の検認遺産目録

M <sup>r</sup> Germin		5	0	0
M <sup>r</sup> Cooling	Bad	4	18	2
M <sup>r</sup> Musgrave Highington	Bad	122	18	9
M <sup>r</sup> Standfast Perrott of Bath		22	18	9
M <sup>r</sup> Thos Fussel		3	3	0
M <sup>rs</sup> Eliz. <sup>⑧</sup> Eddolls now the wife of said Standfast Perrott		5	5	0
M <sup>r</sup> Rob <sup>t</sup> W <sup>m</sup> Parret		5	5	0
John Devonshire late of the Hotwells		1	7	0
M <sup>r</sup> John Fowler Cap <sup>t</sup>		5	13	9
M <sup>r</sup> Charles Corsett		6	0	0
Sworn in Court	Martha Jacques			
26 <sup>th</sup> July 1783 before us				

J Camplin Sur

出典：EP/J/2/1/1783, BRO.

- 
- ① Appraisement
  - ② Merchant
  - ③ deceased
  - ④ Robert
  - ⑤ per
  - ⑥ Alderman
  - ⑦ Robert
  - ⑧ John
  - ⑨ Notary
  - ⑩ Public
  - ⑪ Vizit
  - ⑫ Octorber
  - ⑬ 3 Ditto
  - ⑭ Ton
  - ⑮ Recieved
  - ⑯ Samuel
  - ⑰ Esquire
  - ⑱ Captain
  - ⑲ William
  - ⑳ Thomas
  - ㉑ William

- ⑳ George
- ㉑ Daniel
- ㉒ Richard
- ㉓ Edward
- ㉔ Lazarus
- ㉕ paid
- ㉖ Interest
- ㉗ Elizabeth

# Higher-Value Probate Inventories in Eighteenth-Century Bristol: Three Case Studies

Yoshihiko Okabe

The purpose of this paper is to gain access to the real lives of wine merchants, maltsters and bakers in the eighteenth century on the basis of three case studies of higher-value probate inventories in the Ecclesiastical Cause Papers (ECP) of Bristol.

The top three occupations in Bristol were all in food-related trades and two of those three were related to the alcohol business. The food business was the most profitable business in the eighteenth century. The latest research on victuallers, conducted using eighteenth-century directories, reveals that many victuallers not only ran businesses that provided food or other provisions to ships, but they also managed taverns. As in the case of John Duval's stock, port wine was a vital product for voyages, and alcohol drinks were consumed by sailors, so occupations related to alcohol were sure of financial success.

The cases of Duval and Francis Jacques (one of the highest-value inventories in the ECP), do not feature appraisals of goods and chattels. In fact, the three cases examined do not contain much information about goods and chattels at all, but many stocks and debts are appraised, as well as lists of debtors and dates. They reveal that the function of probate inventories for traders was largely to confirm debts and credits rather than to appraise goods and chattels for apportionment of the deceased's estate.

In the case studies of inventories and accounts, both documents had the function of confirming the credits and payments of the deceased. They also featured bonds and deeds of loans. Some cases include desperate debts, so it is not clear how effective they were.